

令和 8 年度

事業計画書

社会福祉法人 空知の風

令和8年度 事業計画書 目次

社会福祉法人 空知の風 事業計画書	4
たのしいどう 事業計画書	17
きっちんどう 事業計画書	25
あかるいどう 事業計画書	30
わくわくどう 事業計画書	33
歩～夢 事業計画書	40
日中一時支援事業（楽らく・うきうき・らんらん）事業計画書	44
いいべや 事業計画書	44
そらわーく 事業計画書	45

令和8年度 社会福祉法人 空知の風 事業計画書

～ 令和7年度の事業計画を振り返って ～

令和7年度は、コロナによって休業していたカフェのリニューアルオープンや、新しく始まった就労選択支援事業「そらわーく」の開設、障がい者福祉や法人の魅力を発信するためのアンテナショップ開設に向けた建物の購入など、積極的に整備を進めてきました。また、常時支援が必要な方のための生活支援のために、20名程度の規模の共同住居の必要性が高まり、日中サービス支援型グループホームの開設に向けて土地取得や設計などを進めることとしました。

法人が行なう地域公益的な活動は、「地域交流祭」や「ちいき食堂放課後レストラン」その他、街頭募金活動などを行ない、障がい者福祉の啓発と地域への還元に努めました。

利用者支援では、権利擁護に努め、就労支援・生活支援を行ないました。また、合同行事や小規模単位の外出行事等様々なメニューを提供し、個別の趣味や嗜好にあった活動に参加していただきました。

令和7年度は役員改選の年でしたので、法令に従い、理事・監事・評議員の改選を行ないました。

令和7年度の重点目標として掲げていた事項では、

1つ目の**経営強化のための事業推進**については、10月から就労選択支援事業「そらわーく」を空知管内で初めて開設しました。また、プロジェクトごとに専門チームを作りそれぞれの役割を明確にして専門性の向上に努めました。6月に理事・監事・評議員の改選を行ない、3名の評議員が退任され、4名の方が選任されました。

2つ目の**多様化する利用ニーズの受け入れ整備**については、加齢や障がいにより心身の状態が変化した利用者に対しても、法人内の事業所間異動など、本人にあった活動を提案できるように多種のメニューを用意し、安定的な利用につながるようになりました。

3つ目の**施設設備の更新や修繕**については、コロナ禍によって休業していたパン工房併設のカフェを再開するにあたり、リフォームして新たにオープンしました。また、法人魅力を発信するアンテナショップを開店するため、岩見沢の中心市街地に物件を取得しました。内装や外装の工事を経て、「そらわーく」「わくわくどう」の機能も備えたアンテナショップとして8年度4月よりオープンします。

4つ目の**地域公益事業の実施**については、例年の地域交流祭をはじめ、様々な活動を行ないました。特に「ちいき食堂放課後レストラン」では、外のイベントも実施し、アウトドアのような趣向で、参加者に楽しんでいただきました。

◎令和8年度の重点目標について

令和8年度は、大規模な事業として、常時支援を要する方の生活支援の場として、日中サービス支援型グループホームの建設計画を進めていくことが最重要課題となります。現在グループホームに住んでいる方のニーズと、在宅の利用者からのニーズを見極め、適切な規模と設備の設計と、必要な土地の確保、業者の選定や入札手続きなど、法人開設以来最も大きな事業となる見込みです。生活支援拠点の拡充により、将来の利用者や家族の安心と利用の安定を図り、経営基盤の強化へつなげます。

また、岩見沢中心市街地でオープンするアンテナショップについても、法人の商品を市民にアピールし、福祉の仕事の魅力を発信できるツールとして、商品力の強化やアイデアなど、職員一丸となって取り組みます。

そのほか、ICTやDXなどの導入による職員業務の効率化を図り、労働環境の向上や利用者支援の向上につなげていきます。

これらを重点目標として次の通り掲げて法人の事業を推進します。

1. 日中サービス支援型グループホーム建設計画の推進

- 常時支援を必要とする方の生活支援の場として日中サービス支援型グループホームの建設計画を進める。
- 国庫補助などの助成金の申請をする。
- 設計の検討と資金調達の計画を立てる。
- 介護包括型グループホームの利用ニーズと日中サービス支援型グループホームの利用ニーズを収集し整備のための検討を行なう。
- 必要となる土地の取得を行なう。

2. アンテナショップの開設と法人の魅力発信

- 空知の風の魅力や福祉の仕事の発信を行なうアンテナショップを開店する。
- ショップでは一般消費者へ向けた魅力ある商品を開発する。
- ショップの集客のために積極的な店舗運営を行なう。
- 就労継続B型事業「わくわくどう」及び就労選択支援事業「そらわーく」を併設し、法人の魅力発信と福祉への啓発を行なう。

3. ICTやDXの導入により業務の効率化を図る

- ソフトウェアの導入を進め、書類作成業務の効率化を図る。
- 業務用グループウェアを導入し、情報の共有や報告・連絡・相談の効率化を図る。
- タブレット端末の支給について検討し、書類のデジタル化、保管書類の省スペース化を図る。
- 常勤職員の勤務時間を8時間勤務から7時間勤務へ変更する。
- 建物内照明のLED換装について計画を立てる。

4. 経営基盤の強化

- 利用者確保及び利用率向上ため、職員の意識改革及び充実した支援メニューを実施する。
- 各種障がい福祉サービスの充実の他、法人の収益事業の創設に向けた検討を始める。

社会福祉法人 空知の風 理念及び基本方針

理 念

当法人・事業所を利用される方達が、地域社会の中で大切にされ、一人ひとりが自己実現を目指し豊かに暮らしていけるよう支援する。

目 的

障がいのある方達の地域生活支援・就労支援（生産活動支援・企業就労支援）余暇活動支援・緊急時支援を通じて利用者個々の自己実現を目指す。

基本方針

①利用者主体

- ・ 個人々の自己選択、自己決定を尊重する。

②質の高い多様な支援の提供

- ・ 働く事を通じて喜びや充実感を得られる支援。
- ・ 企業での就労を目指した支援。
- ・ レクの活動を通じて楽しめる支援。

③地域生活支援の充実

- ・ 地域生活の拠点としてグループホームでの共同生活支援や単身生活の支援、在宅障がい児・者及び家族支援のための緊急時支援、デイ活動支援、地域住民やボランティアとの地域活動、交流事業の推進、関係行政機関との手続き支援。

目 標

○生産性の向上

- ・ 利用者個々の可能性を模索して、本人が収益事業に参加できる作業を見出し、利用者の工賃向上のため商品を開発し・生産・販売の拡充を進める。また、個々の支援においては、丁寧にバランス良く関わり、支援の工夫ができる考え方や支援技術の向上を目指す。

○企業就労支援の充実

- ・ 関係機関との連携や労働施策、制度の活用を通じて、受入れ企業での定着に向けた継続的な人的支援を進めるとともに職場体験実習の受入れ企業の開拓を目指す。

○活動支援の充実

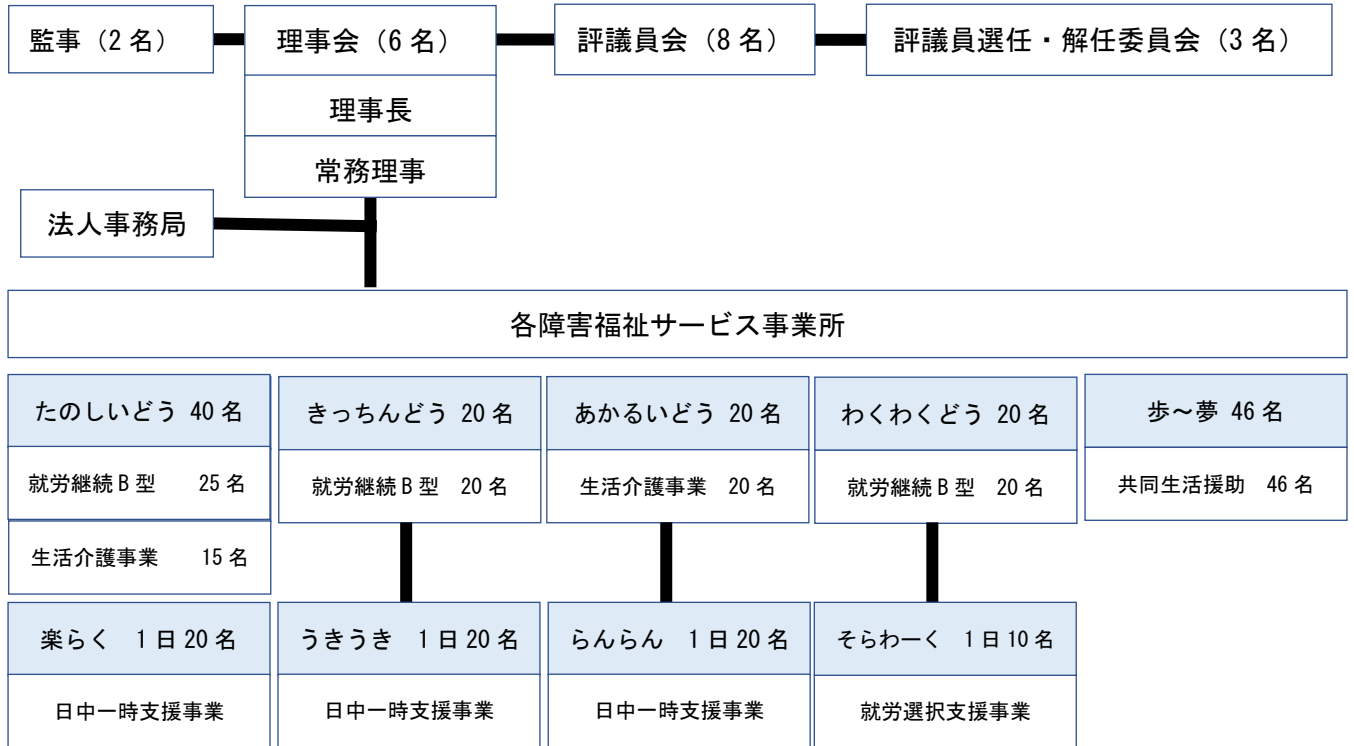
- ・ 利用者ニーズや個人々の重度化、高齢化等の多様化に対応し、活動支援（レクの活動、スポーツ運動、音楽、創作活動、他文化的活動等）を取り入れ、活動での楽しみ、やりがい、人とのふれあいや交流により喜びを得られる支援を目指す。

○地域生活支援の充実

- ・ 地域生活の拠点となるグループホーム、単身生活等の多様な暮らしの場を用意し、それが地域に点在していることにより、社会資源を活用し、地域で暮らしていく知恵、可能性を引き出し、そして、自己実現へつなげる拠点として機能する事を目指す。また、地域や町内の行事や余暇活動の場を通して、一地域住民として交流し、豊かな生活を実現できるよう支援するとともに社会性を養う支援を目指す。

令和8年度 社会福祉法人 空知の風 事業計画

1. 法人の組織



2. 評議員会及び理事会の開催

評議員会の開催について

	開催月	主な審議事項
定時評議員会	令和8年6月	令和7年度計算書類及び財産目録の承認

理事会の開催について

	開催月	主な審議事項
第1回	令和8年5月	令和7年度事業報告および決算
第2回	令和8年9月	整備計画の承認
第3回	令和8年12月	補正予算等
第4回	令和9年3月	令和9年度事業計画および予算

3. 監事による監査

監事監査の実施について

	実施月	主な内容
第1回	令和8年5月	令和7年度事業報告および決算
第2回	令和8年8月	事業運営状況、会計運営状況
第3回	令和8年11月	事業運営状況、会計運営状況
第4回	令和9年2月	事業運営状況、会計運営状況

4. 地域における公益的な取り組み

- ・地域住民への感謝と交流、および障害福祉への理解や啓発を目的に地域交流祭を開催する。
- ・地域の清掃イベントの参加。
- ・町内会子供盆踊りへの出店協力。
- ・赤い羽根共同募金の街頭募金活動への参加を行なう。
- ・法人所有の重機車両で近隣町内会館や近隣宅の除雪を行なう。
- ・ちいき食堂「放課後レストラン」事業を複数回実施する。

5. 苦情解決体制

- ・苦情解決体制については、「社会福祉法人空知の風 苦情解決体制」のとおり、空知の風及び各施設・事業所が提供する福祉サービスへの苦情を適切に解決し、利用者の満足度を高め、利用者個人の権利擁護とサービス提供者としての信頼及び適正性の確保を図る事とする。
- ・利用者の権利擁護を念頭におき、利用者を主体とした福祉サービスの改善を図る。
- ・虐待を防止し、福祉サービスを適正に利用できるように虐待防止規定の整備、第三者委員の選任等により苦情解決委員会に虐待防止の機能を設ける。
- ・苦情を密室化することなく、社会性や客観性を確保した一定のルールに基づき解決にあたることによって、公正な解決の促進や事業者としての適正や信頼を確保する。

6. 権利擁護

- ・知的障がいのある方たちに対する、いかなる差別、虐待、人権侵害も許さず、人としての権利を擁護するために、日本知的障害者福祉協会が定める「知的障がいのある方を支援するための行動規範」や北海道知的障がい福祉協会における「人権侵害ゼロへの誓い」を遵守して利用者の接遇に努めるものとする。
- ・職員が権利擁護への意識を高め、利用者接遇の向上、質の高い支援を目指すために必要な外部研修、内部研修に積極的に参加し、職員一人ひとりの知識と意識の向上に努めるものとする。
- ・空知知的しょうがい福祉協会の権利擁護委員会が取り組むオンブズマン活動への参加や情報の収集に努め、施設・事業所間の連携により権利擁護に努めるものとする。
- ・利用者接遇における行動や言動について、接遇や態度を自ら振り返ることができる自己点検チェックを毎月行ない、結果の精査や振り返りを行ない支援における助言に努め、日常적으로お互いに点検出来る様に心掛ける。
- ・職員の権利擁護にも努め、利用者やその家族側からの過度な要求や言動には、客観的に事実を検証して冷静に対応し、場合によっては毅然とした態度で対応する。
- ・共同生活援助事業において、「地域連携推進会議」を開催し、地域との交流や福祉への理解の促進、支援の透明性の確保に努める。
- ・毎月、権利擁護部門から全職員に対して、権利擁護や虐待防止について、自らを振り返る設問を用意してヒヤリングを行ない、適正な接遇や対応につなげる。

7. 虐待防止

- ・職員はいかなる場合であっても虐待をしてはならない。
- ・職員は、虐待防止規程に基づき、適切な利用者支援に努める。
- ・虐待防止責任者は、虐待を未然に防止するために、全職員に定期的に会議・打ち合わせ等の場面において、自分達の支援についての報告をすることで、支援の点検や指導を行なう。また、ケース対応が難しい方達の支援においては、適切に対応するために日頃から想定される場面において、どのように対応、支援するのかを決めておき、突如の対応が不適切な行動、言動にならないように心掛ける。
- ・どのような対応が虐待となるのか、どう対応するのが適切なのか、虐待防止に関する内部の研修会を定期的実施、外部研修に参加し、職員1人ひとりの利用者支援、権利擁護についての知識や意識を高める。
- ・虐待防止の観点から第三者委員を交えた意見交換を行ない、閉鎖的で画一的な支援に陥らないように点検を行なう。

8. 感染症・衛生管理対策

- ・利用者及び職員、施設・事業所を利用される方達が、感染症を予防し健康を守るため「社会福祉法人空知の風 感染症対応業務継続計画」および「感染症対応フローチャート」に基づき衛生管理に対応するものとする。
- ・食品事業に関する衛生管理、利用者への衛生支援を徹底し、地域社会に食品を販売する認識を再確認し、意識を高め事故の防止に努めるとともに、食品表示法や関連法の学習を進め法令遵守に努める。
- ・職員の衛生管理に対する知識や意識を向上するために必要な研修への参加や、内部研修を開催する。

9. 災害対応・事故対策

- ・「防火防災対策業務継続計画」に基づき、利用者および職員の生命や安全を守るための対応を行なう。
- ・電気・水などのライフラインを確保するための発電装置や備蓄燃料を点検・整備する。
- ・災害対応については利用者の生命を守れる様に管理者の指揮命令の下、職員が迅速な判断と行動を取れる様日頃から研修や訓練を実施する。また、備蓄品の確保や災害時に必要な備品類を整備する。
- ・年2回それぞれの事業所とグループホーム住居ごとに避難訓練を実施する。
- ・利用者のみならず地域住民の避難場所としても活用できる準備を整える。
- ・災害備蓄用品の買い増しと以前購入したものの更新を行ないローテーションする。

①地震

- ・避難口の確保、火元の消火、頭上からの落下物の回避、状況により外へ避難する場合は利用者の安全を確保しつつ誘導、避難させる。
- ・夜間の地震発生については、職員は自宅の安全が確保された後に割り当てられた担当場所へ駆けつけ、利用者の安全確保と設備機器に異常がないか、管理者、理事長へ報告する。

②火災

- ・防火規程に準じて利用者の生命、安全の確保に努める。
- ・避難口を常に確保する。火元になりそうな場所や器具、コンセントの点検をしっかりと行なう。
- ・消火器の設置、スプレータイプの消火器、避難はしご等の設置や点検、使用期限の更新を行なう。
- ・避難訓練を定期的実施する。
- ・グループホーム住居においては各室の整頓を心掛け、特にストーブ周辺や家電コンセント周辺の点検を行なう。

③雪害

- ・除排雪や屋根の積雪量の点検を定期的に行ない落雪による事故を未然に防ぐ。
- ・屋根の雪降ろしは複数名で行ない、ヘルメット、安全带などを確実に装備する。
- ・2階以上の高所屋根の雪降ろしは職員では行わず、専門業者に発注し実施する。
- ・雪の情報をいち早く入手し利用者の通所判断を行ない家族へ連絡する。
- ・車輛運転技能など一定以上の者に小型作業機械の免許を取得させ、除雪を行なう。

④水害

- ・大雨による河川の氾濫に留意し、ハザードマップの確認を行なう。
- ・避難開始の判断基準、避難経路、避難先を明確にし、周知を行なう。

⑤車両事故

- ・自動車の運転については細心の注意を払う。
- ・交通ルールを遵守し、「かもしれない運転」を心掛ける。

- ・利用者の送迎、製品の販売、納品は毎日実施するため運転者は特に事故に対する認識を深め安全運行に努める。
- ・公用車での移動時は原則大きな通りを使用し、近道をしてはならない。
- ・送迎車両にはドライブレコーダーを装着し安全管理を強化する。

1 0. 防犯体制

- ・外部からの不審な侵入者から利用者・職員の安全を守る。
- ・閉鎖的な設備を設けることで社会から孤立することなく、地域に開かれた施設事業所であると同時に利用する方々の安全を守るための対策を講じる。
- ・訪問者や施設周辺の往来する人たちへ積極的に挨拶を行なう。
- ・防犯カメラの設置による防犯体制の強化を行なう。

1 1. 情報管理

- ・職員は、業務上知り得た利用者個々の個人情報や、職員の個人情報、法人の機密に関わる情報について、各種、規程、規則、マニュアルにより適切に管理し事故の防止に努める。
- ・個人情報の取り扱いについては、現場長、施設長の許可を経て使用する。
- ・紙面による情報、PC用データ保存機、メール、ネットの取り扱いには細心の注意を行なう。

1 2. 主な施設整備等の事業

- ①日中サービス支援型グループホーム用地の購入
 - ②アンテナショップの店舗用什器の購入
 - ③歩～夢の各住居の修繕。
 - ④きっちんどうの屋根の張替え
- ※予算の執行状況により、年度内に実施を予定する。

1 3. 車両の整備

- ①共同生活援助事業の車両の購入。(中古車)
- ②日中活動事業における送迎車両の入れ替え。(中古車)
- ③就労事業・配達納品用車両の入れ替え。(中古車)

※予算の執行状況により、年度内に実施を予定する。

1 4. 機器の整備

- ①パン工房春いろの製パン機械設備の更新。

※予算の執行状況により、年度内に実施を予定する。

15. 主な障がい福祉サービス事業

(1) 第二種障害福祉サービス事業

① たのしいどうの設置経営

- 利用定員 40名
- 就労継続支援事業（B型） 利用定員 25名
- 生活介護事業（生産活動有り） 利用定員 15名

② いいべやの設置経営

- 短期入所事業（単独型） 利用定員 2名
（1日）

③ きっちんどうの設置経営

- 利用定員 20名
- 就労継続支援事業（B型） 利用定員 20名

④ あかるいどうの設置経営

- 利用定員 20名
- 生活介護事業（生産活動有り） 利用定員 20名

⑤ わくわくどうの設置経営

- 利用定員 20名
- 就労継続支援事業（B型） 利用定員 20名

⑥ 歩 ～ 夢の設置経営

- 共同生活援助事業 利用定員 46名（サテライト1名）
（うち宿泊体験事業） 利用定員 5名

- | | | | |
|--------------------------------|---------|----------------------------------|---------|
| <input type="checkbox"/> 春が来た荘 | 利用定員 5名 | <input type="checkbox"/> 秋いろいろ荘 | 利用定員 4名 |
| <input type="checkbox"/> 夏色荘 | 利用定員 5名 | <input type="checkbox"/> 虹のかけはし荘 | 利用定員 5名 |
| <input type="checkbox"/> 桜なごみ荘 | 利用定員 4名 | <input type="checkbox"/> もみじ色づき荘 | 利用定員 5名 |
| <input type="checkbox"/> ふきのとう | 利用定員 3名 | <input type="checkbox"/> みないい荘 | 利用定員 4名 |
| <input type="checkbox"/> 波のり荘 | 利用定員 5名 | <input type="checkbox"/> ゆめばえ荘 | 利用定員 5名 |

⑦ 楽らく（たのしいどう付設）の設置経営

- 日中一時支援事業 利用定員 20名（1日）

⑧ うきうき（きっちんどう付設）の設置経営

- 日中一時支援事業 利用定員 20名（1日）

⑨ らんらん（あかるいどう付設）の設置経営

- 日中一時支援事業 利用定員 20名（1日）

⑩ そらわーく（わくわくどう付設）の設置経営

- 就労選択支援事業 利用定員 10名（1日）

16. 職員人事について

職員の人事体制については、法人内の様々な部署を経験することによる総合的なスキルアップや、法人組織としての対応力の向上などの観点から、人事異動を行ない、職員の育成と組織的な対応化を図る。

また、雇用する職員の待遇については処遇改善加算（Ⅲ）を申請し、職員の賃金面での待遇強化を行なう。

主な職員配置 ※別紙 職員体制及び配置表参照

(1) 法人本部

総合施設長

事務局長

事務課長

(2) たのしいどう

施設長

課長

主任

主任

(3) きっちんどう

施設長

課長

主任

(4) あかるいどう

施設長

課長

主任

(5) わくわくどう

施設長

課長

主任

主任

(6) 歩～夢

施設長

課長

主任

主任

17. 年間予定表

令和8年度 法人・事業所 年間予定表

	法人	施設・事業所
4月	職員辞令交付式（4日）	事業開始式（合同行事） 苦情解決委員会
5月	令和7年度第4期及び決算監事監査 第1回理事会	事業報告書作成 GW休業（3日～6日）
6月	定時評議員会	避難訓練（全事業所） 広報「そらかぜ」発行
7月	地域交流祭	健康診断
8月	令和8年度 第1期監事監査	お盆休業
9月	第2回理事会	利用者旅行 広報「そらかぜ」発行
10月		利用者旅行 避難訓練（全事業所）
11月	令和8年度 第2期監事監査	レクレーション大会（合同行事）
12月	第3回理事会	利用者忘年会企画 30日～年末年始休業 広報「そらかぜ」発行
1月		～3日 年末年始休業 利用者成人のお祝い （各事業所）
2月	令和8年度 第3期監事監査	新年度体制に向けた整備 事業計画・予算作成・申請
3月	第4回理事会	新年度体制に向けた整備 事業計画・予算作成・申請 広報「そらかぜ」発行 健康診断（夜勤従事者）

※評議員会・理事会については臨時に開催する場合があります。

18. 研修計画

○職員は、資質向上のための職員研修を実施する。

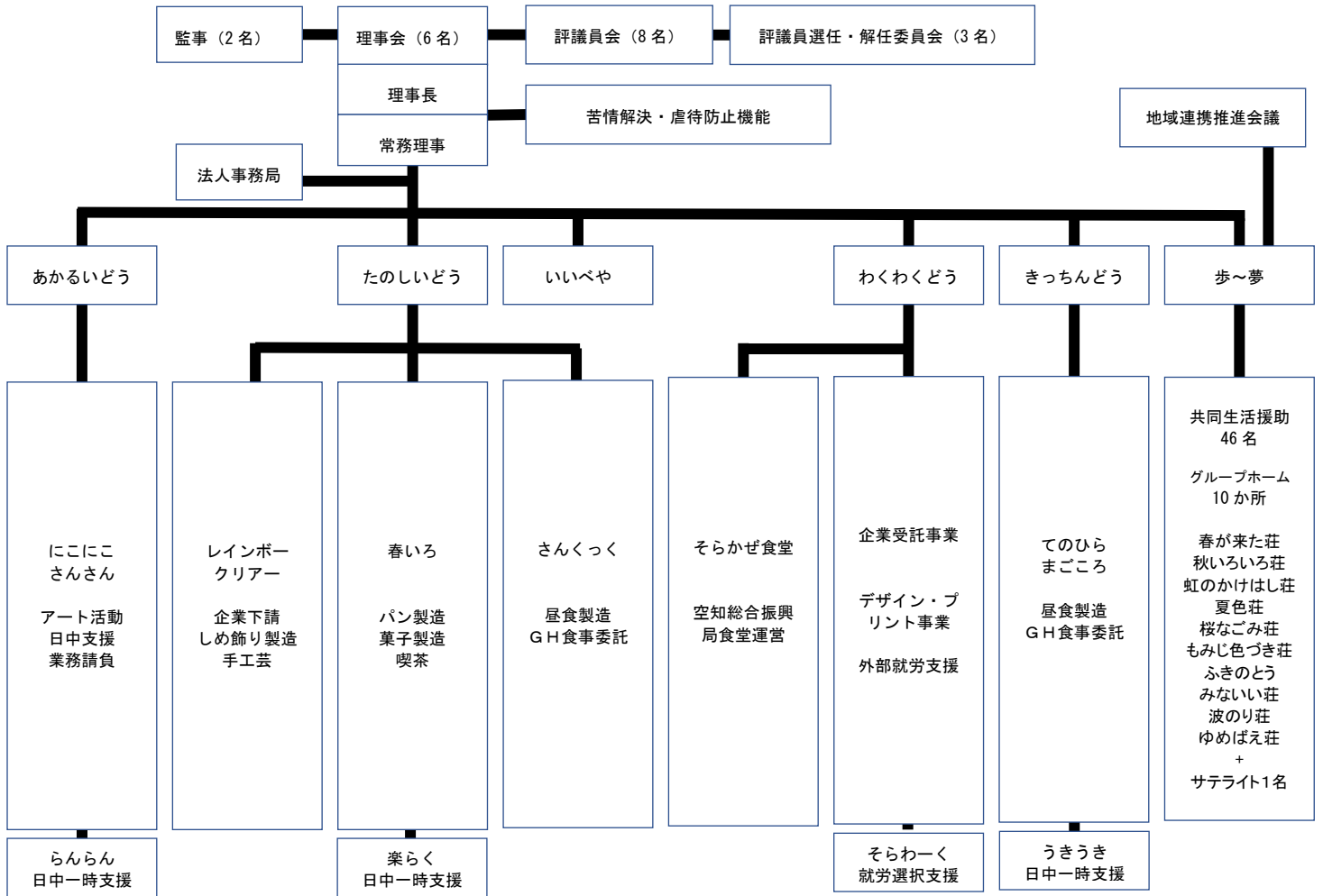
令和8年度 事業所内研修計画

予定月	テーマ	内容	対象者
4月	知的障がいについて 虐待防止・権利擁護研修	・基本的な知識や支援心得 ・基本的な知識等	新任者・パート等 全ての職員
5月			
6月			
7月	感染症予防と対策について	・基本的な知識 ・感染を想定した訓練	常勤職員・看護職員
8月	虐待防止・権利擁護研修	・基本的な知識 ・手続き	すべての職員
9月	防災研修・救命救急	・基本的な知識 ・実地訓練	すべての職員
10月	法人研修（外部講師）		役員・職員
11月			
12月	感染症予防と対策について	・基本的な知識 ・感染を想定した訓練	常勤職員・看護職員
1月			
2月			
3月	法人理念と基本方針について	・理念 ・基本方針 ・事業計画 ・事業予算	すべての常勤職員

※その他、外部研修会のフィードバックなど適宜実施する。

19. 事業班体制

令和8年度 事業班体制図



令和8年度たのしいどう事業計画書

1. 運営方針

利用者がその人なりの自己実現に向けた日常生活及び社会生活を実現できるよう、働く事の支援として、生産活動や一般企業での職場実習等の支援を通じて働く喜びを得て、発達、成長に繋がる支援を行なう。また、日中活動において、利用者の楽しみや、やりがいに繋がる取組みや活動、生活支援を通じて、日常生活が豊かになるように努める。

2. 支援目標

- 利用者の適性に応じた作業環境を整え、安全かつ効率的な作業工程の構築に取り組む。安定した活動の場を提供し、生産活動を通して、一定水準の工賃を確保し、所得保障の機能を保つ。
- 利用者の希望に応じて、生産活動支援と創作活動等の余暇的支援をバランスよく提供する事を目指す。

3. 定員 40名 現員 37名

就労継続支援事業B型 定員25名 現員21名
生活介護事業 定員15名 現員16名

4. 生産活動支援

事業班名	実施事業及び支援内容	利用者数	職員数
春いろ	パン、菓子の製造販売・店舗、カフェ運営に係る支援	13名	5～6名
さんくっく	昼食製造・GH 食事の受託製造に係る支援	6名	2～3名
レインボー	自主製品作り（ウエス・クイリング製品）	17名	7～8名
クリアー	下請作業（企業受注作業・公園清掃）		

5. 日課

時間	利用者	職員
8:00		利用者受入開始・送迎・検温・衛生支援
9:00	午前作業開始	生産活動支援開始・朝礼
11:45	昼食、休憩（各班毎、3回に人数を分ける）	昼食付添支援・服薬支援・食堂の消毒
13:00	午後作業開始（14:30～15:00 休憩時間）	生産活動支援再開
15:00	作業場片付け、清掃	支援記録記入・GH 引継ぎ連絡
16:00	作業終了、帰宅	利用者送出し支援、送迎、申し送り 交通機関等巡回支援、翌日作業準備
17:00		作業場、館内点検、退勤

6. その他

- ・この計画に定めのない事項については、法人事業計画および各種規程に準拠する。
- ・就労事業の具体的な計画については事業班毎の計画に沿って実施する。

＊目標＊

- ・パン製造と菓子製造の受注状況に応じ、効率的な生産体制の確立、環境の改善に努める。
- ・季節やイベント行事に合わせた企画立案、店舗装飾等を行ないお客様が楽しみを持ち来店しやすい環境を作る。
- ・作業場での食品衛生の意識向上を図り、安全な製品作りへの責任感を養える環境整備を継続する。
- ・新たなパンやお菓子の目玉商品を考案し販売を通して、売上へと繋げる。

所属利用者	13名
就労継続支援事業B型(12名)	生活介護事業(1名)

年間売上目標額	1110万円	工賃還元予定額	436万円
収益事業面			
項目名	収入目標	内容	
パンの受注納品・販売	690万円	主に施設、学校、保育園、企業等、自動車移動30分圏内の受注納品、販売を行なう。食事やイベント等に合わせた商品を衛生面に気を配りながら進めていく。顧客の安定受注へと繋がる様、アレルギー対応のパンや新商品紹介などの営業、冷凍流通方式によるパンの受注納品にも力を入れ、売上へ繋げていけるよう商品開発を進めていく。	
菓子の受注納品・販売	250万円	冷凍流通も含み、全国の事業所、圏内の学校、保育園等を顧客として、給食、イベント、店舗等で活用出来るよう提示する。また、お歳暮ギフト商品にも力を入れ取引の活性化を継続して進めていく。また、定期的に生菌検査を実施し商品に質の確認を継続する。道産原材料にこだわった商品作りを目指し、リピート率を上げていける様に取り組んでいく。	
パン店舗運営	150万円	店舗限定商品や、季節の食材、道産食材を使用した商品、イベント商品にも力を入れる。また、お客様に好感を持って頂けるような丁寧な接客、季節に合わせた店舗の装飾を行ない、地元のお客様により足を運んで頂けるような店舗作りを目指していく。	
カフェ運営	20万円	パン工房併設のカフェ運営を行なう。英会話教室等の集まりの活用や、町内の方達が気楽に足を運んでいただける店舗を目指していく。	

支援目標	
項目名	内容
製パン作業	計量、ミキサー操作、パン生地分割・成形、焼成前の加工、焼成、袋詰め、シール貼り、一連の工程を利用者個々の障がい特性に配慮しながら担当する役割を分担し相談、視覚情報を提示しながら進めていく。機械やオープンの操作の時は危険の無い様にスタッフの見守りのもと進めていく。
ロールケーキ・焼き菓子製造	材料の計量、生地作り、スポンジの焼成、クリームのコロケーション、クッキー生地成形等の一連の工程を利用者さんが習得できるよう、特性に配慮し個々の役割を決めて丁寧に伝え支援していく。
袋詰め・出荷作業	完成したパンやお菓みに異物が入らない様、袋詰めを行なう準備段階から説明を重ねていく。また、何度も確認しながら進め、食品事故に繋がらない様にしていく。納品先毎にパンやお菓子の数量やグラムが異なるため、分かりやすい視覚情報を用いながら進めていく。最終確認を注文書と照らし合わせ、スタッフと一緒に間違いのないよう支援する。
接客作業	店舗での陳列、レジ打ち、袋詰め、外部販売での接客へと取り組む。適性に応じて、担える役割を提示し、適切な言葉遣いや対応、身だしなみ等もスキルを身に付けられるよう支援する。
清掃作業	全工程終了後、工房内の清掃に取り組む。ゴミの仕分けも積極的に進め市民の務めを自覚して頂く。食品衛生に必要な清掃、消毒、管理についての重要性を説明していく。

令和8年度 年間予定表

事業班名：春いろ

	製造販売事業（パン・菓子）	製造販売事業（カフェ）
4月	【開発】 現有売れ筋製品の磨き上げ（年間） 【製品】 製品ラインナップ見直し 商品価格、種類の見直し	【店舗】 カフェメニューの見直し、開発 店舗看板の掲示作成
5月	【企画】 夏メニュー（冷菓子）の企画 新商品開発（随時）	【企画】 販売メニュー企画
6月	【企画】 冷菓子の企画、展開 夏の商品メニュー、お中元商品の企画 【衛生】 気温上昇に伴いエアコン、扇風機の 掃除、水回りの衛生	【企画】 販売メニュー企画、展開
7月	【製品】 商品価格、種類の見直し ●お中元商品の販売 店舗夏仕様に装飾リニューアル	【衛生】 気温上昇に伴いエアコンの掃除等
8月	【開発】 納品受注の営業、見直し	【企画】 秋冬メニューの企画立案・準備
9月	■事業班計画の中間評価	■事業班計画の中間評価
10月	店舗ハロウィン、クリスマス仕様に順次 リニューアル	【企画】 秋冬メニューの展開、開始
11月	【企画】 クリスマス企画展開、新商品開発 お歳暮ギフト企画準備、展開開始	【企画】 クリスマス限定メニュー立案・準備
12月	●お歳暮ギフト販売 ■一次補正予算 ■利用者賞与支給 【企画】 バレンタイン企画準備	■一次補正予算 ■利用者賞与支給 【企画】 クリスマスメニューの展開、開始
1月	■新年度に向けた課題の整理 【企画】 バレンタイン企画、展開開始	■新年度に向けた課題の整理
2月	■次年度事業班計画策定 【企画】 ひなまつりの企画、展開開始 ホワイトデーの企画準備	■次年度事業班計画策定
3月	■二次補正予算 ■利用者賞与支給 商品価格、種類の見直し	■二次補正予算 ■利用者賞与支給

＊目標＊

- ・食への興味、楽しみがより増えるような献立を考え、いろいろな味に触れるきっかけ作りに貢献する。
- ・季節に応じたメニューや健康志向のメニュー等を立案し、利用者さんの健康増進となる取組みを目指す。
- ・衛生管理に留意し、感染症や食中毒発生防止など安全な調理で食べてもらえる食事づくりを継続する。

所属利用者	6名
就労継続支援事業B型(6名)	生活介護事業(0名)

年間売上目標額	590万円	工賃還元予定額	253万円
収益事業面			
項目名	収入目標	内容	
たのしいどう 昼食製造	566万円	事業所昼食の製造、管理を行なう。利用者さんの昼食が、日々の楽しみへと繋がるような昼食作りを目指す。季節感やイベントを取り入れたアイデアメニュー等も取り入れ、麺類やパンなどの好評だったものは定番メニューとして継続して取り入れる。献立表や献立ボードを活用し、メニューを解りやすく提示する。仕入の見直しを随時行ない、質の維持とコスト削減を図る。野菜の調理方法や冷凍保存などの工夫、利用者さんの健康意識向上や、食べられる食材の幅が広がるように取り組む。また、残食量や検食をした職員からの評価も振り返り、結果を踏まえて再度調理方法を検討する。	
GH食事業務 委託	24万円	グループホームの朝食の仕込み、下処理を行ない、ホーム毎の人数に応じた材料の分配、仕分け作業を行なう。また、祝日や週末に必要な総菜や食材を速やかに運べる準備や管理を行なう。食材の仕入れは、現行委託業者によりグループホームで行なっている。委託業者から仕入れた食材の検品作業を行ない、その際、使用量を間違わない様、記録する。また、検品者はサインをすることで業務に責任を持ち、食材が無いなどのトラブルを防ぐ。不明な点などは、その都度、発注担当者と確認・相談を行なう。	

支援目標	
項目名	内容
調理作業	事業所厨房において、比較的簡易な皮むき作業から、包丁を扱う作業や加熱調理まで、安全に行なえるように支援をしていく。危険を伴う刃物の作業等は、職員が常に付き添う他、けがの予防のため補助具を用いたり、けがに繋がる行動を取る可能性がある場合には事前に注意喚起を行ない、利用者さんが安心して進めていける様に配慮する。衛生管理の意識を持ち、安全な食事を提供出来るよう、身だしなみや手洗い、加熱調理時の中心温度の計測、生肉、生魚などの取り扱い方などが守られるよう、見守りや声掛け、見本を見せるなどの支援をしていく。作業の幅を広げ、様々な作業に携われるよう役割分担の提示を行なう。
盛り付け作業	調理後の主菜・副菜の盛り付け、ご飯の計量、味噌汁の配膳を個々の習熟度や特性に応じて行なう。メニューに応じた盛り付けについて、重量や数量等、基準が分かりやすい様に支援の工夫を行なう。見映えにも配慮した盛り付けが出来るよう、見本を示す。盛り付け前の身だしなみを確認し異物混入を防ぎ、また盛り付け用手袋で色々な物に触る事のないように見守る。また、ご飯の盛り付け作業は、順番を決めてみんなで行っていただく。味噌汁など、出来る限り温かく、適温で美味しく提供出来るよう、当番の利用者さんへも盛り付けのタイミングを伝えていく。

令和8年度 年間予定表

事業班名：さんくっく

製造販売事業（さんくっく）	
4月	【企画】年間季節メニューの立案 【コスト】野菜仕入の検討・調整 【年間】新しい作業種の創出・検討
5月	【企画】おたのしみメニューの実施・評価
6月	【企画】夏季メニューの立案 【製品】他事業所製品、夏野菜の調整、購入 【衛生】気温上昇に伴いエアコン、扇風機の掃除等
7月	【企画】夏季メニューの実施・評価、七夕メニューの立案
8月	【企画】七夕メニューの実施・評価
9月	■事業班計画の中間評価
10月	【製品】他事業所製品、秋野菜の調整、購入
11月	【企画】クリスマスメニューの立案
12月	■一次補正予算 ■利用者賞与支給 【企画】クリスマスメニューの実施・評価
1月	【企画】節分メニューの立案
2月	■次年度事業班計画策定 【企画】ひなまつりメニューの立案
3月	■二次補正予算 ■利用者賞与支給 【企画】ひなまつりメニューの・実施・評価

＊目標＊

- ・製造販売事業と下請加工事業の二本立てで、多様な作業種と作業量の確保を進める。
- ・利用者さんの適性に合った作業や活動を提案し、個々の利用者さんが取り組める環境作りを進める。

所属利用者		18名	
就労継続支援事業B型(3名)		生活介護事業(15名)	
下請加工部門			
年間売上目標額	68万円	工賃還元予定額	62万円
製造販売部門			
年間売上目標額	115万円	工賃還元予定額	77万円
収益事業面			
項目名	収入目標	内容	
企業受注作業 (下請加工)	42万円	企業や施設等から請ける様々な作業・ポスティングに取り組む。利用者の特性や得意分野のマッチングを図り、能率向上を目指す。	
公園清掃 (下請加工)	13万円	5月～10月末まで地域の町内会から作業委託を受け、児童公園の清掃(週1回のごみや石拾い、お手洗い清掃作業)を行なう。	
自販機維持管理 (下請加工)	13万円	事業所に設置している、2台の自動販売機本体や周囲の清掃、除雪や維持管理を行なう。	
ウエス作業 (製造販売)	25万円	安定した仕入れと販売を目指し、顧客のニーズに応えられる製品を目指していく。新しい取引先を増やすため、営業活動にも力を入れていく。	
クイリング製品 (製造販売)	90万円	主にしめ縄飾りに的を絞った制作および受注販売を行なう。また、季節にあった製品作りも行なっていく。	

就労事業支援目標	
項目名	内容
下請作業	利用者さんの得意分野や障がい特性に応じて、作業の提示を行なう。個々に役割を分かりやすく提示し、責任感や達成感を高めていく。
ウエス作業	様々な治具を提示し、危険なく自身で進めていける様、支援をする。
公園清掃	市内の4か所の児童公園を、1時間30分程度で終了する様、4名程度の利用者さんと清掃を行なう。公園敷地内のゴミや石拾い、トイレ清掃のやり方等を支援する。また、町内会の担当者と情報交換をし、清掃内容や清掃道具の準備、管理を行なう。
クイリング作業	細長い紙を丸める工程や様々な形のパーツ作りを専用の道具を使いながら制作をする。製作や組み立てを提案し、利用者さんの個々に合った、作業能力を活かせるように支援をする。季節やイベントに合わせた作品を、楽しみながら製作出来るよう支援していく。
館内環境整備	たのしいどう館内の清掃に取り組む。清掃道具の正しい使い方や清掃の進め方を支援していく。また、建物周辺のごみ拾いや草刈り作業、除雪等の環境設備を行ない、環境美化活動を行なう。

活動事業支援目標	
項目名	内容
レク活動	季節の制作等や趣味活動の支援として位置づける。また、作業だけでなく、楽しみの充実利用のニーズがある方に対して、レク内容の提案をし、意思を聞きながら、モチベーションの向上を目的に行なう。

令和8年度 年間予定表

事業班名：クリアー・レインボー

	クリアー	レインボー
4月	【受託作業】自販機清掃（随時） 【下請】委託作業（年間）	【ウエス】企業・仕入先調整（年間） 【ウエス】ウエス製造、営業活動（年間） 【クイック】季節用製品作成（春夏作品）
5月	【下請】公園管理作業開始	【クイック】しめ飾り構成見直し
6月	【下請】公園清掃	【クイック】しめ飾りパーツ製造（随時） 【クイック】季節用製品パーツ製造（随時）
7月	【下請】公園清掃	【クイック】季節用製品企画（秋冬作品）
8月	【下請】公園清掃	【クイック】しめ飾りチラシ作成開始
9月	■事業班計画の中間評価	■事業班計画の中間評価 【クイック】しめ飾りチラシ完成 案内先見直し
10月	【下請】公園管理作業終了	【クイック】しめ飾り組立開始
11月	【受託作業】自販機（冬期商品調整）	【クイック】チラシ配布、営業活動 クリスマス商品販売
12月	■一次補正予算 ■利用者賞与支給 【受託作業】自販機清掃及び除雪 （冬季適時実施）	【クイック】しめ飾り注文受付終了 ■一次補正予算 ■利用者賞与支給
1月	■新年度に向けた課題の整理	■新年度に向けた課題の整理
2月	■次年度事業班計画策定開始	■次年度事業班計画策定開始
3月	■二次補正予算 ■利用者賞与支給	■二次補正予算 ■利用者賞与支給

令和8年度 年間予定表

土曜通所促進活動	
4月	【企画】おたのしみメニューの立案
5月	【企画】毎週お楽しみくじ引き実施
6月	【企画】他事業所による、昼食お楽しみメニューの実施（TD、KD） 【企画】毎週お楽しみくじ引き実施
7月	【企画】毎週お楽しみくじ引き実施
8月	【企画】駐車場でのバーベキュー実施（TD、KD） 【企画】毎週お楽しみくじ引き実施
9月	【企画】毎週お楽しみくじ引き実施
10月	【企画】他事業所による創作メニュー（TD、KD） 【企画】毎週お楽しみくじ引き実施
11月	【企画】毎週お楽しみくじ引き実施
12月	【企画】毎週お楽しみくじ引き実施
1月	【企画】新年のお祝いとして集うお楽しみメニュー実施（KD） 【企画】毎週お楽しみくじ引き実施
2月	【企画】毎週お楽しみくじ引き実施
3月	【企画】毎週お楽しみくじ引き実施

- 土曜午後の開催の余暇活動では、希望に沿ったメニュー（小外出も含め）を3か月に一度、実施。
- 土曜に通所された際は、「土曜参加お楽しみスタンプカード」でスタンプを押し、4月～12月の通所率が高い方に忘年会にて豪華な景品と表彰をする。1月～3月までの通所率が高い方は事業開始式にて表彰する。
- 土曜参加された方は、昼食後に抽選会やゲームを行ない、利用者が楽しめる活動を行なう。（ゲーム参加には、各事業のニーズに合わせた景品をお渡しする）。また、最終土曜日にも、ゲームや抽選会を行ない、商品券やギフトカード、昼食メニュー決定権をお渡しし、通所への増進を図る。

令和8年度 きっちんどう 事業計画書

1. 運営方針

利用者が自己実現に向けた日常生活及び社会生活を実現できるよう、働く事の支援として、生産活動や一般企業での職場実習等の支援を通じて働く喜びや、発達、成長に繋がる支援を行なう。また、日中活動において、利用者の楽しみや、やりがいに繋がる取組みや活動、生活支援を通じて、日常生活が豊かになるように努める。

2. 支援目標

○各事業所の昼食や歩～夢の夕食製造を中心に、調理作業を楽しみながら、食への興味をより高めていく。献立内容の工夫により、調理方法や工程を細分化し、利用者さんの工程作業を増やし、調理技術を更に高めていく。利用者の衛生面を確保し、個々の適性に応じた作業環境を整え、安全かつ効率的な作業工程を構築し取り組む。

○食への安心、安全、食に対する衛生面への意識を高める。

○新しい冷凍食品の製品を増やしていけるよう、試作を行ない、商品化していく。

○余暇活動の充実～利用者の皆さんが興味のある活動を見つけ、楽しく参加出来る様、提案していく。

3. 定員 20名 現員 16名

就労継続支援事業B型 定員20名 現員16名

4. 生産活動支援

事業班名	実施内容及び支援内容	利用者数	職員数
てのひら	昼食製造と夕食製造、肉巻きおにぎりや冷凍製品の製造販売に係る支援	16名	8名
まごころ	自動販売機の管理や企業下請作業等に係る支援		

5. 日課

時間	利用者	職員
8:00		送迎
8:30	通所	利用者受入開始・送迎・衛生支援
9:00	午前作業開始	生産活動支援開始・朝礼
10:30		買い物・昼食配達
11:30	昼食、休憩（前半休憩 11:30～12:30）	昼食提供、昼食付添支援、服薬支援
12:30	昼食、休憩（後半休憩 12:30～13:30）	昼食提供、昼食付添支援、服薬支援
13:00	午後作業開始	休憩後、衛生支援
14:00		送迎
15:00	作業場片付け、清掃	支援記録記入・GH引継ぎ連絡
16:00	作業終了、帰宅	利用者送出し支援、送迎、退勤
17:00		申し送り、作業場、館内点検、退勤

6. その他

- ・この計画に定めのない事項については、法人事業計画および各種規程に準拠する。
- ・就労事業の具体的な計画については事業班毎の計画に沿って実施する。

＊目標＊

- ・たくさんの食材に触れ、食への興味や調理技術の向上を目指していく。
- ・安心安全の食品製造を実施し、利用者の安定した所得保障の機能を確保する。
- ・新たな冷凍食品の商品（総菜等）を開発し、近隣及び全国の事業所、アンテナショップにて紹介し、販売を通して、売上へと繋げる。

所属利用者	16名
就労継続支援事業B型（16名）	

年間売上目標額	1585万円	工賃還元予定額	565万円
収益事業面			
項目名	収入目標	内容	
法人内食事提供 （昼食製造）	805万円	食事提供の業務委託を法人内各事業所より受託し、昼食時間までに製造、配達を行なう。選択メニューの取り入れや季節感のあるメニューを心掛け、リクエストも聞きながら利用者さんに満足してもらえるよう製造していく。ホームの就労利用者さんからの注文に応じて、昼食のお弁当も合わせて製造していく。	
法人内食事提供 （夕食製造）	680万円	グループホームの月曜日～土曜日までの夕食製造に取り組む。昼食献立とのバランス、食材や調理方法等も考慮し、利用者さんに喜んで頂けるような食事を提供する。定期的に変更メニューを取り入れ、選ぶ楽しみも増やしていく。男性、女性、年齢、特性に応じた摂取量等の調整も行ない、健康にも意識した内容へと取り組む。	
冷凍食品事業 （おにぎり製造他）	100万円	冷凍食品として、製造、発送できる商品の開発を進めていく。肉巻きおにぎりの他にも、給食やグループホームの食事、お歳暮、お中元等に使用して頂けるような新しい商品の開発も進めていく。全国の福祉事業所へ宣伝し、受注納品の他にも、イベントやアンテナショップでも販売出来るよう、商品の質をより上げていく。	

支援目標	
項目名	内容
衛生・感染予防 の確保	通所時、手洗い・消毒・検温の実施を継続していく。作業開始時には、衣類の異物付着の除去、スタッフが付き添いながら、作業室に入るまでの衛生面の確保や体調確認を行なう。
安全性の確保	加熱調理、包丁作業などケガの危険がある作業では、器具の使い方や危険推測を伝えつつ、治具の活用も取り入れながら安全に作業を行なえるように配慮した支援を実施。
衛生への意識の 向上	作業台・使用器具等の洗浄方法、消毒、包装資材等の取り扱い方など衛生上留意しなければならない方法・手段を伝え、正確に準備を行なえるように支援を実施する。
製品品質の担保 及び食品表示	商品の質を担保する為、商品の生菌検査を定期的実施。検査に提出する為の商品の製造と保管、検査提出準備等を行なう。出荷時には、食品表示における記載事項を徹底し、商品の安全性を確保する。
昼食・夕食製造	材料の下調理、調味、加熱調理などの調理における支援を実施する。包丁の使い方・切り方、焼き・揚げ物や、ご飯等の計量、盛り付け、配膳など個々の力に応じて取り組み、支援を実施する。
おにぎり製造 冷凍品製造	肉巻きおにぎりや冷凍商品の製造における支援を実施する。お米の握り方や肉の巻き方や包み方、焼き加減等、冷凍保存状況の改善を行なう。新商品では工程作業を確保し、個々に合った作業工程を提示し、良い商品としてお客様に届けられるよう、製造への支援を行なう。

目標

- ・自動販売機の管理。
- ・職場実習などの業務委託などの調整を実施する。

所属利用者	16名
就労継続支援事業B型(16名)	

年間売上目標額	30万円	工賃還元予定額	25万円
収益事業面			
項目名	収入目標	内容	
下請 (委託販売)	12万円	自販機販売手数料、委託業務などで得た収入を分配する。	
下請 (委託業務)	18万円	時間や曜日、期間限定的な下請け業務へと取り組む。施設外での作業へと取り組むことにより、働く意識や意欲の向上にも繋げていく。	
下請 (職場実習)	未定	企業での職場実習を実施した場合、実習に出た利用者にて得た委託費を還元する。	

支援目標	
項目名	内容
感染予防・衛生 確保	通所時、手洗い・消毒・検温の実施を継続していく。作業開始時には、スタッフが付き添いながら、衣類の異物付着の除去や作業室に入るまでの衛生面の確保や体調確認を行なう。
委託販売	自販機本体や周りの清掃、除雪や維持管理を行なえるよう支援する。
委託業務	委託業者より依頼を受けた作業を、期間や時間内に業務を完了できるよう、手本を通して伝え、効率化を目指す。また、環境の配慮や改善等も行なう。
職場実習	職場実習を希望する利用者のニーズと企業からの要望を調整し、相互に継続可能な条件、環境整備を行なう。障害者差別解消法の施行も踏まえ、戸外で「はたらく」可能性を拡げる。

令和8年度 年間予定表

	製造販売事業	下請け加工事業
4月	<p>【開発】 昼食、夕食献立メニューの内容、調理工程の見直し、検討</p> <p>【衛生】 鳥神飯生菌検査提出（4/30以降） 衛生管理の周知、HACCP記録様式見直し</p>	
5月	<p>【開発】 冷凍食品新メニューの開発、試作</p> <p>【企画】 おたのしみメニューの実施・評価</p> <p>【衛生】 鳥神飯商品ラベル変更（賞味期限1年）</p>	<p>【自販機】 温商品→冷商品へ調整</p> <p>【委託業務】 JAとひまわり箱折り作業の日程、内容の調整</p>
6月	<p>【衛生】 気温上昇に伴い食材・厨房内の衛生管理 エアコン、扇風機の掃除等</p> <p>【企画】 夏季メニューの立案</p>	<p>【就労】 就労雇用契約更新確認（ツイ）</p>
7月	<p>【企画】 夏季メニューの実施・評価</p> <p>【企画】 お中元ギフト立案</p> <p>【指導】 保健所巡回指導（HACCP記録事前確認）</p>	
8月	<p>【企画】 おたのしみメニューの実施・評価</p> <p>【開発】 お中元ギフト販売</p>	
9月	<p>【仕入】 器具の見直し、購入</p>	<p>【委託業務】 日高町商工会とタコロッケ製造について、連絡調整</p>
10月	<p>【企画】 おたのしみメニューの実施・評価</p> <p>【企画】 お歳暮ギフトの立案</p>	<p>【委託業務】 タコロッケ材料搬入、製造開始</p> <p>【自販機】 冷商品→温商品へ調整</p>
11月	<p>【企画】 クリスマスメニューの立案</p>	
12月	<p>【企画】 クリスマスメニューの実施・評価</p> <p>【企画】 お歳暮ギフト販売</p> <p>【衛生】 冷蔵庫・冷凍庫のフィルター掃除</p> <p>■一次補正予算</p> <p>■利用者賞与支給</p>	<p>■一次補正予算</p> <p>■利用者賞与支給</p>
1月	<p>【企画】 節分メニューの立案</p>	
2月	<p>【企画】 節分メニューの実施・評価</p> <p>ひなまつりメニューの立案</p> <p>■二次補正予算</p>	<p>■二次補正予算</p>
3月	<p>【企画】 ひなまつりメニューの実施・評価</p> <p>■ 新年度事業計画・予算作成・申請</p> <p>■ 事業計画立案 ■利用者賞与支給</p> <p>【衛生】 肉巻きおにぎり・肉巻き棒生菌検査提出</p>	<p>■ 新年度事業計画・予算作成・申請</p> <p>■ 事業計画立案</p> <p>■利用者賞与支給</p>

令和8年度 年間予定表

土曜通所促進活動	
4月	【企画】おたのしみメニューの立案
5月	【企画】毎週お楽しみくじ引き実施
6月	【企画】他事業所による、昼食お楽しみメニューの実施（TD、KD） 【企画】毎週お楽しみくじ引き実施
7月	【企画】毎週お楽しみくじ引き実施
8月	【企画】駐車場でのバーベキュー実施（TD、KD） 【企画】毎週お楽しみくじ引き実施
9月	【企画】毎週お楽しみくじ引き実施
10月	【企画】他事業所による創作メニュー（TD、KD） 【企画】毎週お楽しみくじ引き実施
11月	【企画】毎週お楽しみくじ引き実施
12月	【企画】毎週お楽しみくじ引き実施
1月	【企画】新年のお祝いとして集うお楽しみメニュー実施（KD） 【企画】毎週お楽しみくじ引き実施
2月	【企画】毎週お楽しみくじ引き実施
3月	【企画】毎週お楽しみくじ引き実施

- 土曜午後の開催の余暇活動では、希望に沿ったメニュー（小外出も含め）を3か月に一度、実施。
- 土曜に通所された際は、「土曜参加お楽しみスタンプカード」でスタンプを押し、4月～12月の通所率が高い方に忘年会にて豪華な景品と表彰をする。1月～3月までの通所率が高い方は事業開始式にて表彰する。
- 土曜参加された方は、昼食後に抽選会やゲームを行ない、利用者が楽しめる活動を行なう。（ゲーム参加には、各事業のニーズに合わせた景品をお渡しする）。また、最終土曜日にも、ゲームや抽選会を行ない、商品券やギフトカード、昼食メニュー決定権をお渡しし、通所への増進を図る。

＊目標＊

- ・体力・運動機能の維持を図り、元気に活動し続けられる健康づくりを支援する。
- ・個々の感性を活かしたアート制作を進めて、道内のみならず全国の展覧会への応募を進め、少しでも多くの作品が多くの人々の目に触れ、社会に認知されるように SNS 活用を含めた取り組みを実施する。
- ・アールブリュットについて学び、利用者さんの特性に合った活動を提案し、利用者さんが活躍できる場面が拡がり、更に権利が護られるような環境作りに取り組む。

所属利用者		22名	
生活介護事業 (22名)			
製造販売部門			
年間売上目標額	45万円	工賃還元予定額	29万円
下請加工部門			
年間売上目標額	35万円	工賃還元予定額	30万円
収益事業面			
項目名	収入目標	内容	
カレンダー制作 (製造販売)	35万円	制作されたアートの中から抜粋された作品を活かしてアートカレンダーを作成する。 チラシやパンフレット・SNS を駆使して、購買意欲につながるように取り組む。	
アート作品販売他 (製造販売)	10万円	事業所内のギャラリーに制作したアート作品を展示し、希望される方に販売する。また、アート小物やクイリングを施したアート作品を作成し、展示販売を行なう。	
企業下請他	34万円	シール貼りや圧着作業、リストバンド作り等、企業からの下請け作業を請ける。	
自動販売機管理	1万円	事業所に設置している自販機本体や周りの清掃、除雪や維持管理を行なう。	

就労事業支援目標	
項目名	内容
カレンダー制作 自主製品制作他 (製造販売)	絵画・貼り絵・クイリング・手工芸等を中心にアート制作活動を進める。アート制作活動によって生まれた芸術作品を使用して、カレンダーや小物等の製品を製造する。製造過程を通じて、利用者が達成感ややりがいを感じられるように支援する。
企業受注作業 (下請作業)	参加を希望する利用者が取り組みの内容によって健康増進が図られる、またはモチベーションや安定が保たれることを目標とする。一日のスケジュールに組み込み、利用者には選択の機会を提供していく。作業内容に合わせ利用者が使いやすい治具を作り、作業工程や手順を確認しながら利用者が安心して取り組めるように支援する。

活動支援目標	
項目名	内容
レク活動 (健康増進)	様々なニーズに沿った玩具や器具を使って楽しく過ごす時間を設けることで、日常活動へのモチベーション向上を図る。また、体を動かす活動を取り入れて、運動機能が維持されるように支援する。
アート制作	自由で豊かな作品作りを大切に、個々の創作を支援する。また、職員が制作活動に必要な情報を学び、作品や製品作りの支援方法に生かす。完成した作品は、多くの展示会への出展を目指して、全国のギャラリー・展示会の情報を収集し応募していく。

令和8年度 年間予定表

	アート制作	下請加工事業	余暇活動・健康維持活動
4月	・アート制作・販売（年間） ・ウィンドウズギャラリー制作 ・アート展の年間予定確認 ・展覧会応募・出品（年間）	・企業下請け（年間） ・ポスティング（年間）	【余暇】散歩・レク・軽運動 誕生日会
5月	・みんなあ〜と2026応募 ・ウィンドウズギャラリー展示		【余暇】散歩・レク・軽運動 誕生日会
6月	・みんなあ〜と2026出展 ・ウィンドウズギャラリー制作		【余暇】散歩・レク・軽運動 誕生日会
7月	・地域交流祭アートグッズ販売 ・ウィンドウズギャラリー展示		【余暇】散歩・レク・軽運動 誕生日会
8月	・カレンダー制作開始		【余暇】散歩・レク・軽運動 BBQパーティー
9月	・えましあ作品希望打ち合わせ ・ウィンドウズギャラリー制作		【余暇】散歩・レク・軽運動 誕生日会
10月	・ウィンドウズギャラリー展示 ・ハート&アート出展 ・カレンダー完成		【余暇】散歩・レク・軽運動 誕生日会
11月	・カレンダー販売促進開始 (SNS・チラシ等営業)		【余暇】散歩・レク・軽運動 鍋パーティー
12月	・「えましあ」作品納品期日	・賞状制作 (イベントにより)	【余暇】レク・軽運動 誕生日会
1月	・ウィンドウズギャラリー制作		【余暇】レク・軽運動 誕生日会
2月	・ウィンドウズギャラリー展示		【余暇】レク・軽運動 誕生日会
3月	■新年度体制事業計画・予算作成 ・年間展示会出品等の検証	■業務委託等契約更新・ 確認	【余暇】年間メニューの検証 誕生日会

- 土曜に通所された際は、「土曜参加お楽しみスタンプカード」でスタンプを押し、4月～12月の通所が高かった方に忘年会にて豪華な景品と表彰をする。1月～3月までの通所率が高い方は事業開始式にて表彰する。
- 土曜参加された方には、抽選会やゲームを行ない、利用者が楽しめる活動を行なう。(ゲーム参加には、各事業のニーズに合わせた景品をお渡しする)。また、最終土曜日にもゲームや抽選会を行ない、商品券やギフトカード、昼食メニュー決定権をお渡しし、通所への増進を図る。

令和8年度 わくわくどう 事業計画書

1. 運営方針

利用者がその人なりの自己実現に向けた日常生活及び社会生活を実現できるよう、働く事の支援として、施設外での就労活動や一般企業での職場実習等の支援を通じて働く喜びを得て、発達、成長に繋がる支援を行なう。また、日中活動において、利用者の楽しみや、やりがいにつながる取組みや活動、生活支援を通じて、日常生活が豊かになるように努める。

2. 支援目標

- 利用者の適性に応じた作業環境を整え、安全かつ効率的な作業工程の構築に取り組む。生産性を高めることを通じて工賃向上を図り、所得保障の機能を高めていく。
- 多様な利用者の作業ニーズに応じて、生産活動支援の可能性を拡げ、高工賃を目指し、利用者の所得保障の場として利用してもらえる支援を提供する。
- アンテナショップ開設に伴い、効果的な情報発信、新商品の開発を推進し、来店者を惹きつける店舗づくりを目指す。

3. 定員 20名 現員 16名

就労継続支援事業B型 定員20名 現員 16名

4. 生産活動支援

事業班名	実施事業及び支援内容	利用者数	職員数
そらかぜ食堂	空知総合振興局食堂の運営に係る支援	7名	4～5名
施設外就労	介護施設におけるの食器洗浄作業及び、盛り付け作業	4～5名	2～3名
プリント製品製造販売	Tシャツやグッズ等のプリント作業に関わる支援 環境整備・美化等に関わる作業	3～4名	
アンテナショップ運営	ショップでの商品販売、接客、陳列、清掃作業		

5. 日課

時間	利用者	職員
8:00		利用者受入開始・送迎・衛生支援
9:00	午前作業開始	生産活動支援開始・朝礼
12:00	昼食、休憩（各班毎、人数を分ける）	昼食付添支援、服薬支援
13:00	午後作業開始	生産活動支援再開
15:00	作業場片付け、清掃	支援記録記入、作業場所からの送迎
16:00	作業終了、帰宅	利用者送出し支援、送迎、交通機関巡回支援
17:00		終礼、申し送り、退勤

6. その他

- ・この計画に定めのない事項については、法人事業計画および各種規程に準拠する。
- ・就労事業の具体的な計画については事業班毎の計画に沿って実施する。

目標

- ・委託契約の更新等、振興局総務課との連絡を密にとり、利用者の活動の場確保に努める。
- ・これまでの実績を基に食数調整や仕込み量の調整を行ない、製造ロスを削減しコスト軽減を図る。
- ・HACCPの考え方を取り入れた衛生管理に沿った生産活動の実施。
- ・感染症予防や食中毒発生防止など、衛生面での意識向上を図り、安全な調理への責任感を養える環境整備を継続する。

所属利用者	7名
就労継続支援事業B型(7名)	

年間売上目標額	1210万円	工賃還元予定額	300万円
収益事業面			
項目名	収入目標	内容	
振興局食堂運営	1120万円	季節に応じた毎月のイベントメニューの企画を通して来店客確保を目指す。毎月のデータ集計を元に売れ筋のメニュー取り入れ常に精査していく。(月約93万円×12か月)	
昼食提供	90万円	昼食提供の業務委託を実施。利用者さんに満足してもらえるように季節感のあるメニューを取り入れ、嗜好調査を行ないながら「食べる楽しみ」を実感し、食事づくりへの意欲の向上を目指す。年間約1680食(約7食/日)。	

支援目標	
項目名	内容
調理作業	比較的簡易な皮むき作業から、包丁を扱う作業や火を使った作業まで、安全に行なえるように支援。
盛り付け作業	おかずの盛り付け、ご飯の計量、味噌汁の配膳を個々の習熟度や特性に応じて行なう。メニューに応じて、食器の種類や枚数を準備する。
洗い物・片付け	大量の食器の洗い物を、効率的に行なう方法の助言をする。手早い作業の中でも洗い残しのないように、適宜仕上がりの確認をスタッフの方で行なうようにする。
清掃作業	厨房内や食堂の清掃の支援を行なう。多数の利用客に食事を提供する事もあり、高い衛生意識を利用者さんに持ってもらえる様に、より細部まで清掃や消毒箇所を知らせる支援を行なう。
ホール接客作業	レジ接客や下膳時の対応について支援を行なう。多数の利用客に気持ちよく食堂利用をして頂けるように適切な挨拶・言葉かけやマナーを意識して対応できるように支援する。
カウンター接客作業	オーダーを受けるカウンターでの食券受け取り、厨房へのオーダー通し、完成時のお客様の呼び出し作業を支援する。順番通り受付出来ているかの見守り、正しい接客方法等の必要に応じて助言する。

令和8年度 年間予定表

事業班名：そらかぜ食堂

製造販売事業（そらかぜ食堂）	
4月	【企画】月メニューの企画・立案会議 【コスト】材料仕入先業者との価格調整（年間） 掲示物の見直し、新調（年間）
5月	【企画】月メニューの企画・立案会議
6月	■事業班計画の点検・修正 【企画】月メニューの企画・立案会議
7月	【企画】月メニューの企画・立案会議
8月	【企画】月メニューの企画・立案会議
9月	■事業班計画の中間評価 【企画】月メニューの企画・立案会議
10月	【企画】月メニューの企画・立案会議
11月	【企画】月メニューの企画・立案会議
12月	■一次補正予算 ■利用者賞与支給 【企画】月メニューの企画・立案会議
1月	【企画】月メニューの企画・立案会議
2月	■次年度事業班計画策定 【企画】月メニューの企画・立案会議
3月	■二次補正予算 ■利用者賞与支給

目標

- ・社会性やマナーを身に付けられるように、学ぶ機会を設けて支援を行なう。
- ・それぞれの役割の約束事、決まり事を共有して、一人ひとりが会社にとって必要な役割が担えるように支援を行なっていく。
- ・作業する利用者の健康を損なうことがないように、作業種により季節や気温による体調の変化や感染症予防と衛生面、寒暖の調整に気を配り、安全に取り組むことが出来るように支援を行なう。

所属利用者	4～5名
就労継続支援事業B型(5名)	

年間売上目標額	270万円	工賃還元予定額	270万円
収益事業面			
項目名	収入目標	内容	
食器洗浄作業 及び 盛り付け作業	270万円	介護施設の利用者様が、気持ち良く食事が出来るように、食器の洗浄を行なう。又、ごはん、味噌汁を正しい分量、個数分盛り付け、差し込み作業を行なう。 正確性と効率が問われる部門であるため、緊張感を保って業務に携われるようにする。	

支援目標	
項目名	内容
社会人マナーを身に付ける	社会で働いていくために必要な社会性やマナーを習得できるように、挨拶を行なう場面での相応しい言葉使いや、適切な対応について学ぶ機会を取り入れた支援を行なう。
食器洗浄作業	次回の食事準備時間まで、使用された大量の食器の洗い物を、洗浄し、乾燥機にかけ、乾いたものを正しい場所に片付ける。 限られた時間の中で効率的に行なう方法の助言をする。手早い作業の中でも洗い残しの無いように集中力が切れない時間で、交代を行ないながら業務を進め、仕上がりの確認を適宜スタッフで行なう。 乾燥機に食器を入れる際は、機械が高温のためミトンの使用、周りの安全確保に留意し火傷に注意する。
盛り付け作業	ごはん、味噌汁の盛り付け作業を行なう。毎日、盛り付ける分量、個数が異なるため、職員と常にコミュニケーションを取りながら、相互に確認をする環境づくりを行なっていく。お椀の縁を汚さず、且つ正しい量を入れられるように視覚情報を活用しながら、手順、手本を示していく。
差し込み作業	分量の違うごはん、みそ汁を盛り付けした後、配膳車の正しい位置に設置する。正しい分量の所に配置出来るよう、視覚情報を活用しながら進めていく。

目標

- ・オリジナルグッズ商品の印刷、製造の技術を高め質の安定を目指し、多様な作業種と作業量の確保を進める。
- ・手順や約束事、決まり事をわかりやすく説明し個々の利用者さんが活躍できる環境作りを進める。
- ・新規印刷技術の習得に取り組み、品質と生産性の向上を図る。技術力を強みに新規顧客の確保と取引拡大を目指す。
- ・アンテナショップ開設に伴い、効果的な情報発信による顧客への周知。あわせて魅力ある新商品の開発を推進し、来店者を惹きつける店舗づくりを目指す。

所属利用者	3～4名
就労継続支援事業B型(4名)	

年間売上目標額	252万円	工賃還元予定額	114万円
収益事業面			
項目名	収入目標	内容	
プリント製品 製造販売	252万円	オリジナル商品製造や外部からの受注による布製品へのラバー印刷、フィルム印刷(新技術)、による製品の営業を進め、受注販売を行なう。	

支援目標	
項目名	内容
プリント製品 製造販売	Tシャツやポロシャツ、トートバック等の印刷作業に関わる一連の作業を怪我のないように安全に取り組む。ラバーシートのかす取り、定着パウダーのオープンがけ、位置合わせ、プレス機操作、熱転写後の商品検品、袋詰め、梱包作業など、一連の作業工程を分担し、視覚情報を掲示、治具を活用しながら進めていく。

目標

- ・利用者一人ひとりの仕事や役割に対する意識の向上を目指し、多様な作業種と作業量の確保を進める。

所属利用者	3～4名
就労継続支援事業B型(4名)	

年間売上目標額	12万円	工賃還元予定額	6万円
収益事業面			
項目名	収入目標	内容	
アンテナショップ 運営	12万円	アンテナショップで、販売する新商品の開発、販売を行なう。 チラシ、SNSを活用し、地域の方に情報発信を行なう。	

支援目標	
項目名	内容
アンテナショップ 運営	アンテナショップでの商品の製造、陳列、接客、清掃を行なう。

令和8年度 年間予定表

事業班名：施設外就労・自主事業・アンテナショップ

	施設外就労	自主事業
4月	【衛生】作業着、道具の見直し（随時）	【印刷作業】オリジナル商品製造、受注の営業（年間） 新印刷技術の習得 【アンテナショップ】商品開発・製造技術習得 自販機清掃（年間）
5月		【アンテナショップ】商品開発・製造技術習得
6月		【アンテナショップ】商品開発・製造技術習得
7月		【アンテナショップ】第1弾商品販売
8月		【アンテナショップ】商品開発・製造技術習得
9月	■事業班計画の中間評価、課題の整理	■事業班計画の中間評価、課題の整理 【アンテナショップ】商品開発・製造技術習得
10月		【アンテナショップ】商品開発・製造技術習
11月		【アンテナショップ】第2弾商品販売
12月	■一次補正予算 ■利用者賞与支給	■一次補正予算 ■利用者賞与支給 【アンテナショップ】商品開発・製造技術習得
1月	■新年度に向けた課題の整理	■新年度に向けた課題の整理 【アンテナショップ】商品開発・製造技術習得 自販機周りの除雪
2月	■次年度事業班計画策定	■次年度事業班計画策定 【アンテナショップ】商品開発・製造技術習得 自販機周りの除雪
3月	■二次補正予算 ■利用者賞与支給	■二次補正予算 ■利用者賞与支給 【アンテナショップ】商品開発・製造技術習得 自販機周りの除雪

和 8 年度 年間予定表

土曜通所促進活動	
4 月	【企画】 おたのしみ外出メニューの立案
5 月	【企画】 おたのしみ外出メニューの立案
6 月	【企画】 おたのしみ外出
7 月	【企画】 おたのしみ外出メニューの立案
8 月	【企画】 おたのしみ外出メニューの立案
9 月	【企画】 おたのしみ外出
10 月	【企画】 おたのしみ外出メニューの立案
11 月	【企画】 おたのしみ外出
12 月	【企画】 月 1 回おたのしみ食事
1 月	【企画】 月 1 回おたのしみ食事
2 月	【企画】 月 1 回おたのしみ食事
3 月	【企画】 月 1 回おたのしみ食事

- 土曜に通所された際は、「土曜参加お楽しみスタンプカード」でスタンプを押し、4 月～12 月の通所が高かった方に忘年会にて豪華な景品と表彰をする。1 月～3 月までの通所率が高い方は事業開始式にて表彰する。
- 外出は、映画館やレジャー施設を予定。
- おたのしみ食事は、利用者さんにアンケートを取り、実施していく。

令和8年度 共同生活援助事業所 歩〜夢 事業計画書

1. 運営方針

利用者がその人なりの自己実現に向けた日常生活及び社会生活の実現を目指し、利用者に対してその有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事等の支援・介護等の日常生活上の支援を行なうことにより、入居者の安心・安全な暮らしの充実を図る。

事業の充実並びにスタッフの専門性及び資質の向上に努め、適切なサービスの提供を図る。在宅の方の将来的なニーズも踏まえ、地域生活を支える基盤の拡充に努める。

2. 令和8年度支援目標

- ・利用者のその人なりの能力、意思等を尊重した日常生活支援と余暇支援の充実を図る。
- ・病気の早期発見や予防、又、肥満防止を含め日々の体調管理に努める。
- ・感染症対策に向けた予防接種の対応と備品の確保。また、医療機関との連携を図る。
- ・宿泊体験用の居室の確保も含め、老朽住居の更新の計画をして暮らしの質の向上を図る。
- ・「地域連携推進会議」を行ない、利用者の生活の質の担保や権利擁護に努める。
- ・常時支援を必要とする方の生活の場として日中サービス支援型グループホームの整備を進めるため、利用ニーズの把握を行ない、設計・資金計画の策定、助成金申請および土地取得を進める。

3. 住居名および定員・所在地

(1) 春が来た荘	定員 5名	岩見沢市南町2条2丁目3-12
(2) 秋いろいろ荘	定員 4名	岩見沢市南町2条2丁目3-10
(3) 夏色荘	定員 5名	岩見沢市4条西12丁目3-16
(4) 桜なごみ荘	定員 4名	岩見沢市8条西6丁目15-1
(5) もみじ色づき荘	定員 5名	岩見沢市8条西6丁目15-1
(6) ふきのとう	定員 3名	岩見沢市7条西7丁目45-2
(7) みないい荘	定員 4名	岩見沢市6条西13丁目16
(8) 虹のかけはし荘	定員 5名	岩見沢市6条西10丁目3-4
(9) 波のり荘	定員 5名	岩見沢市大和1条2丁目46-9
(10) ゆめばえ荘	定員 5名	岩見沢市大和1条2丁目49-5
(サテライト)	定員 1名	

※合計定員46名 うち宿泊体験(女性 5室 ・ 男性 1室の予定)

4. 生活支援

生活支援内容
利用者に対する相談・余暇活動の支援・外出・旅行・一時帰省・通(入)院等の付添
食事の提供等の支援・入浴、排せつ等の介護等
健康管理・金銭管理・生活・共益費等出納の援助
財産管理等の日常生活に必要な援助・金銭出納帳等個別確認
職場等との連絡・緊急時対応・親御さん等の連絡・調整
公共交通機関の確認や調整
公的資源の利用・余暇活動・町内会との交流
夜間・早朝の見回り・人員点検・防犯防災の点検、その他必要な点検及び支援
衣類・寝具等の衛生確認
各種届出書類の作成・提出の代行・諸記録の記載・整備
宿泊体験利用者の生活支援全般

5. 業務日課

時間	勤務内容
6:00～	職員出勤
6:30～	起床・朝の身支度支援
7:00～	朝食・体調の確認・服薬確認
8:30～	通所送迎の確認・送り出し
9:00～	通院支援・昼食準備・防火点検
16:00～	夕食準備・帰宅時受け入れ
17:30～	夕食・体調の確認・服薬確認
18:30～	入浴支援・洗濯等の声掛け支援
20:30～	眠前薬等の確認・企業就労の出勤確認
22:00～	夜間支援勤務 (体調確認・施錠確認・防火確認その他)
翌6:00まで	緊急時対応にあたる

- ・通所や就労などそれぞれの日中活動の内容に合わせて、上記日課のとおり生活支援を行なう。
- ・日々の健康管理に対する服薬や体調の変化に気を付けながら生活支援を提供していく。

6. 年間行事

- ・法人事業計画の年間予定表による行事を実施する。
- ・行事や外出など、日々の生活に充実感が得られるよう、利用者と職員がともに企画・運営し、利用者一人ひとりが役割と楽しみを感じられる行事を実施する。
- ・年に3回は歩～夢全体での交流会をしていく。
- ・各月によって住居ごとの誕生日会を実施する。
- ・各月によって献立に季節感や利用者のニーズを取り入れる事で食での充実感を提供する。
- ・地域貢献の活動に積極的に参加していく。
- ・利用者一人一人のニーズをくみ取るため、小外出や小規模での旅行を計画していく。
- ・ティーボール大会・モルックの大会などを通して利用者の交流と健康増進を図る。
- ・就労している利用者の社会参加の拡大及び就労意欲の向上を目的とし、本人の自己決定に基づく旅行の機会を設ける。

月	行事予定	支援予定	申請関係
4月	誕生日会（各月） マガンのねぐら入り	新規入居者受け入れ 個別支援計画配布 通院調整（毎月）	福祉サービス申請。 （各月事）
5月	春のバーベキュー 小外出 消防査察 クリーニンググリーン作戦	GW帰省の調整 住宅や外回り等の環境整備 自転車安全点検	利用者上限額申請 （利用者の支給決定期間に合わせて 月事）
6月	歯科衛生期間 小外出	衣替え	
7月	避難訓練（火災想定） 小外出		
8月	お盆期間の小外出 地域のお祭り参加	お盆帰省の確認 （ご家族と確認）	
9月	秋のバーベキュー 登山・小旅行	モニタリング 個別支援計画作成	自立支援医療見直し 消防保守点検
10月	赤い羽根共同募金参加 消防査察 小旅行 道外旅行（就労）	衣替え 個別支援計画配布 ストーブ安全点検	
11月	避難訓練（自然災害想定）	冬支度・除雪道具の確認 インフルエンザ予防接種開始	
12月	クリスマス・忘年会 小外出	各居室大掃除 年末年始帰省確認 （ご家族と確認）	
1月	成人式・厄払い （該当者のみ）	初詣	
2月	小外出 ティーボール大会		
3月	ひな祭り	モニタリング 個別支援計画作成	福祉サービス申請 消防設備保守点検

7. 支援体制

- ・世話人、生活支援員、夜間支援員等によるGH支援および、夜間緊急時支援体制のための夜勤職員の配置と、空知の風全体の事業所との連携を行ない、食事、入浴等の暮らしのサポート及び緊急時の支援を行なう。
- ・看護師の配置により、日中の通院の調整や服薬の管理体制また、緊急時の際の相談体制の確保を行なう。
- ・夜勤者携帯のほかに緊急時連絡として携帯電話を常時所持している職員の配置。
- ・防火・自然災害等の対策については避難訓練を住居毎に行なう。また定期的に防災設備の点検等も随時行い安全面に対して強化を行なう。

8. 必要物品の整備

- (1) 食器や収納棚等の共有物品の整備
- (2) 各居室の整備、修繕
- (3) 防火、防災カーペットやカーテンの整備
- (4) 防災時の避難経路の整備・確認
- (5) 簡易消火器の整備
- (6) 非常食の備蓄
- (7) 緊急避難時の持ち出し確認
- (8) 自然災害時の安全整備
- (9) 蓄電池の設備
- (10) 防犯フィルム of 整備
- (11) カメラ付きインターホンの設置
- (12) 防犯カメラの設置
- (13) センサーライトの設置

9. その他

- ・この計画に定めのない事項については、法人事業計画および各種規程に準拠する。

令和8年度 日中一時支援事業
楽しく・うきうき・らんらん 事業計画書

1. 運営方針

日中における活動の場や様々なメニューの提供を行なうことにより、障がい者等の余暇時間の充足や、仲間と過ごす楽しみへと繋げていけるような支援を提供する。また、障がい者等の家族の一時的な休息を確保することにより、障がい者等の福祉の増進に資することを目的とする。

2. 定員

- ・岩見沢市との契約に基づき、実施日1日あたりの利用定員は20名とする。
他市町村との委託契約による利用者については別途定める。

3. 支援目標

- 地域資源を活用し、季節感に富んだ多様な余暇支援メニューの提供を目指す。
- 利用者からのメニューのニーズを定期的に聞き取り、活動を通じて、沢山の経験を重ね、充実した余暇へと繋げていけるよう、メニューの構成へと取り組む。

4. その他

- ・この計画に定めのない事項については、法人事業計画および各種規程に準拠する。

令和8年度 指定短期入所事業いいべや 事業計画書

1. 運営方針

利用者とその家族の緊急時の支援を主たる目的とし、法令の定めに基づき、事業所において宿泊を伴う支援を提供する。利用者の状況に応じ、入浴や排せつ、食事の介護等必要な支援を適切に行なう。事業の実施にあたっては、利用者と家庭が安心し、その必要な時に短期入所の提供が出来るよう努め、障がい者等の福祉の増進に資することを目的とする。

2. 定員

- ・実施日1日あたりの利用定員は2名とする。

3. 支援目標

- なるべく心の負担のないように、普段通りの日課で過ごせるような支援と配慮を行なうことを目標とする。
- 買い物等、外出等の希望には可能な限り応えるように努め、充実し、安心して過ごせるような支援を目指す。

4. その他

- ・この計画に定めのない事項については、法人事業計画および各種規程に準拠する。

1. 運営方針

初めて、就労系福祉サービス（就労移行支援・就労継続支援A型・B型）を検討している方を中心に、原則1か月の利用期間内に作業体験や就労アセスメントを活用し、働く力や適性等を評価し、より自分にあった働き方の選択を出来るように努める。

2. 支援目標

- 利用者が自らの特性・希望・生活状況を踏まえ、自己理解の促進、就労に関する情報提供、職場体験の機会確保、関係機関との調整等を通じて、より本人にとって適切な就労先や福祉サービスを主体的に選択出来るよう努める。
- 就労選択支援の質的向上を図るとともに、広報活動や情報発信を強化し、地域とのつながりを深め、当法人の魅力や認知度向上、利用相談件数の増加につなげていく。
- 事業所移転に際し、身体・知的・精神の3障がいに対応する受け入れ体制の整備を進め、多様なニーズに対応できる支援体制構築を目指す。
- 研修等を受講し職員のスキルアップを目指す。

3. 定員 1日の利用可能定員 10名

4. 就労選択支援 利用1か月間のスケジュール

週間テーマ	支援内容	職員数
1週目 スタート・目標立て	就労選択支援の説明 インタビューアセスメント（本人の情報の聞き取り）本人の考えや思いを整理し、1か月の過ごし方をイメージしていく	1～2名
2週目 作業体験・実践	作業の体験を行ない、作業の進め方やルールを学ぶ 体験を通して、本人の得意、苦手な事を見つけていく	
3週目 整理・ふりかえり	体験をふりかえり、良かった点、改善したい点をまとめ、職員と一緒に必要な支援を考えていく	
4週目 まとめ	1か月の成果をまとめ、ケース会議（本人・家族・関係機関）を行ない、次の支援（就労移行、A型、B型）につなげていく	

5. その他

- ・この計画に定めのない事項については、法人事業計画および各種規程に準拠する。